

## 防除所レポート [イネ縞葉枯病（ヒメトビウンカ）の防除適期の予測]

イネ縞葉枯病対策としてのヒメトビウンカの本田散布の防除適期は、ヒメトビウンカ第二世代幼虫の発生開始期から増加期（産卵最盛日から7日後までの間）である。

5月23日現在、有効積算温度から計算した水田におけるヒメトビウンカ第一世代成虫の産卵最盛日は平年よりやや早いと予測される（表）。

近年、ヒメトビウンカに対する防除適期が早まっているので、表の今年の防除適期をよく確認し、適期に防除を行う。（令和3年9月30日発表 病害虫発生予報10月号 p6 防除所レポート参照）

表 水田におけるヒメトビウンカ第一世代成虫の予測産卵最盛日および予測防除適期\*

	アメダス地点	古河	下館	下妻	つくば	土浦
予測産卵最盛日	本年	6/5	6/10	6/8	6/10	6/7
	平年値	6/9	6/14	6/12	6/14	6/12
<b>予測防除適期</b>	<b>本年</b>	<b>6/5-12</b>	<b>6/10-17</b>	<b>6/8-15</b>	<b>6/10-17</b>	<b>6/7-14</b>

※今後の気温が平年並に推移した場合の有効積算温度から予測した産卵最盛日（5月23日現在）。防除適期は、予測した産卵最盛期から7日後までの間。

茨城県病害虫防除所  
病害虫発生予報 6月号(令和5年)より抜粋